

平成28年度 かのん保育園 保育所における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。 A：たいへんよい
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。 B：よい C：一部検討を要する
- D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				目標について、全職員が共通理解を図れるよう、全体会議、全体研修、クラス会議の他にも、短時間(1～5分)でも会議を行うインスタント会議をデイリーに取り入れた。 しかし、実際に個々にヒアリングをすると、目標のみならず保育理念も答えられない職員が新人・中堅・ベテラン問わず多数いることがわかった。 来年度は、実際に理解できているか、目標を意識した保育ができているか、子どものもとまで届いているかを重点課題にする。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・保育指針が新しくなることに伴い、改めて理解を進めていく必要がある。 ・素材・用具については、職員の取り扱いが雑になってきているきらいがある。 子どもだけでなく、職員も物を大切に、整理できるような環境を整えていく必要がある。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。			○		
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。			○		幼児クラスは、多彩なプログラムである一方で、落ち着いた十分な時間を使って活動することが不足しているようにも思える。 来年度は、「自由選択活動」という時間をプログラムの中に取り入れられるよう検討中である。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。			○		第三者評価で、行事が職員の負担につながっていないかという指摘を受けた。行事が職員にとって過度なプレッシャーとなっていないか注意していく。一方で、「行事は子どもも職員も育つ」という考えも忘れてはならない。職員にとっても楽しく充実したものになるよう、行事は係に任せきりになるのではなく、全体で準備する意識を持つ。また、子どもや職員の自由な意見を取り入れ、園長としても伸び伸びした行事になるようフォローしていく。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○		・職員の人数は、最低基準の保育士人数よりも多く設置している。職員の業務負担が減ったことは職員自身も自覚しているが、一方で時間外勤務はそこまで減らず、事務時間確保についても思ったよりも達成できなかった。 保育を厚く見るという意識はいいのだが、+αの職員が必要ない場面でも漫然と保育に留まっている点が見られる。より効率的な動きができるよう共通理解することが課題である。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○		会議で積極的に発言する職員が固定化している。もっと全職員を巻き込んで会議を進めていくような司会進行を心掛けるだけでなく、普段から職員一人一人の自信と責任を自覚できるような働き方ができるように園長としてもフォローしていく必要がある。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 運 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			クラス目標や年間計画に立ち返ったり、クラス会議で意見や提案を拾い上げて月案を作成する、というスタイルが不十分だったように思う。 会議が日々の共有事項確認などに追われ、丁寧な作成過程を経ることができなかったことが反省点である。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				・各クラス会議・研修では、看護師が出席し、保健指導を行った。 ・感染症児が発生した場合は、看護師と嘔吐医が密に速やかに連携を取れている。 ・6月の集団食中毒の件については、園としては早期に嘔吐医に連絡して連携をとっていたが、保健所への通報が遅れてしまったことから指導事項となった。今後は保健所への連絡もスピーディーに行っていく。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○		
研 究 ・ 研 修	所 内 研 究 ・ 研 修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				・第三者評価受審の準備をきっかけに、保育・運営にかかわる様々な事項の整理づけを図った。 DVDでの研修を数回行ったところ、職員にとっても手ごたえがあったようなので継続したい。 一方で、自身の考えや意見をアウトプットしながら議論を行える研修が不足している。今後はこの点も改善していきたい。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。			○		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	研 究 ・ 所 外 研 修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。			○		・日々の保育の忙しさを理由に、十分に研修参加をさせてあげられなかったように感じる。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			・個人情報についての研修は、外部からの研修も取り入れながら充実化させていきたい。
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			・安全点検は、クラス担任が行うことも重要だが、何かあったときを想定して園長自身が責任を持って取り組むことが重要であると感じる。来年度は担任と協働しながら園長も直接点検していくスタイルにしたい。 ・不審者対応については、相模原の事件を踏まえて外部研修などで勉強していく必要があると感じる。
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
		(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。			○		
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			園長や担当職員に固定化せず、複数人でチェックしていくスタイルを構築していきたい。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				近隣の小学校、保育園と交流する機会を作っていた。 幼保小連携事業にも積極的に参加した。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳) 幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1)保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				地域の方への園庭開放、園内見学、給食試食会、行事へのご招待など、積極的に行ってきた。 参加人数も年々大幅に増加しているので、今後も継続していきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)(乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				・園庭開放では園庭を開放するだけでなく、歌やリトミックなどの活動を行った。 夏には園庭だけでなく、プールも開放した。 秋には離乳食講座を行った。 園庭開放の常連も多くいるので、毎月1回お誕生会を開き、お誕生日が近い子には誕生メダルを用意しプレゼントした。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				ホームページのリニューアルを準備している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				・今年度、第三者評価を受審した。 ・意見はアンケートや日々のコミュニケーションの中で吸い上げ、誠実に対応し、反映できたと思う。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				